

## 公益社団法人みやぎ被害者支援センターの支援等担当者へお伺いした事項について

項目	お伺いした内容	お話いただいた内容	備考	
1. 犯罪被害の種類 や相談内容	犯罪被害の種類は性被害が多いが、他に相談が多い類型は何か。	・夫婦間の性行為強要など、犯罪と分類するのは難しいものの、やはり性被害関係が多い。		
	支援に関する相談、お気持ちや感情に関する相談ではどちらが多いか。	・どちらもあるが、相手を許せない、というお話から伺うことが多い。		
	相談以外の対応件数も多いが、どのような内容か。	・相談後の状況報告対応などで、「相談」に分類できないもの。		
	一事案に対する相談回数は、犯罪被害の種類によって異なるか。	・被害内容や個人によってケースバイケース。		
2. 支援内容	安全の確保	どのような相談があるか。	・リベンジポルノにより県外から避難した。 ・家族からの性被害でシェルターに親子で避難した。	
		支援につなげた例はどうか。	・児童の性虐待の場合、 <b>即刻児相の保護につなげ</b> 、加害者の逮捕に至る。 ・裁判がなされた性被害のケースで、検察官が、 <b>被害者の証人尋問の負担</b> を考慮し、センターに支援を依頼するよう被害者に伝え、センターの付添支援につなげた。 ・性犯罪加害者との離婚調停を巡り、子どもと親（加害者）の面会交流を防ぐために小児科の診断書を得ることにつないだ。	・施策 1-3 ・施策 1-11
		支援につなげるのが難しい例はどうか。	・本人ではない第三者（親、友人知人など）から相談がなされる場合、本人からの相談に至らないと、支援につながりにくい。	
	保健医療・福祉サービス	相談を受けたことはあるか。	・犯罪被害を機に会社を辞めたことで、生活が苦しくなった。 ・相談ではないが、コミュニケーションの観点から、障害のある人に対する支援が課題。	
		支援につなげた例はどうか。	・生活が困窮する方については、生活保護制度を紹介した。	
	居住	どのような相談があるか。	・家族から性被害に遭ったケースでは、公営住宅への転居を希望されていたが、収入要件で入居できなかった。	
		支援につなげた例はどうか。	・性被害の事例で、センターから紹介し、復興公営住宅に被害者が申し込み入居した。 ・転居を伴う事例で、全国被害者支援ネットワークの <b>転居費用の助成</b> を得た。	・施策 6-9
		支援につなげるのが難しい例はどうか。	・公営住宅に収入要件で入居できなかったケースでは、自分で民間アパートを探して入居したが、性被害の場合、不動産会社等に申し出ることは難しいと思われ、何らかの配慮がなされたとは考えにくい。	

項目	お伺いした内容	お話いただいた内容	備考
	相談者から施策の要望はあるか。	・それほど多くはないが、 <b>一時的にでも公営住宅に入りたいという要望</b> があれば対応できるとよい。	・連絡協内の連携を検討
雇用	どのような相談があるか。	・性被害を受けたことで仕事が難しくなった。…① ・会社内で上司から性被害を受けた。…②	
	支援につなげた例はどうか。	・①の例では、 <b>被害者が会社に犯罪に遭ったことを伝えておらず</b> 、裁判などでたびたび年休を取得したところ、 <b>会社から、迷惑をかけないよう伝えられたり、降格させられたりしたため</b> 、精神が不安定となり精神科につなげた。このケースでは、のちに被害者が会社に犯罪に遭ったことを伝えたところ、会社が理解を示すようになった。	・施策 13-2、リーフレット
	支援につなげるのが難しい例はどうか。	・②の例では、カウンセリングのため医療機関を紹介したが、保険診療することで職場に情報が洩れることを本人が懸念し受診しなかった。 <b>職場の問題ではあるが、センターからハローワークにつなぐというのは難しい。</b>	・連絡協内の連携を検討
	相談者から施策の要望はあるか。	・被害者が仕事を辞めざるを得ない場合に、 <b>再就職のため資格をとりたいという要望</b> があった。他の財団で助成制度があったので活用したが、 <b>職業訓練などの仕組み</b> もあるとよい。	・連絡協内の連携を検討
損害賠償	どのような相談があるか。	・加害者から示談金を提示され、受けてよいか。 ・刑事罰も求めたいが、慰謝料も求めたい。	
	支援につなげた例はどうか。	・ <b>損害賠償の相談は弁護士相談に内在</b> しているので、対応は弁護士となることが多い。センターでは、転居や通院にかかった領収書を保管しておくよう助言している。	・施策 5-1
	相談者から施策の要望はあるか。	・ <b>弁護士相談の費用</b> を気にする人はいる。初回相談は無料だが、継続対応には費用がかかる。	・連絡協内の連携を検討
経済的負担	どのような相談があるか。	・緊急避妊薬の費用について、センターで負担してほしい。 ・被害者の代わりに診療費を支払ってほしい（医療機関からの相談）。	
	支援につなげた例はどうか。	・ <b>医療費の助成</b> については、いったん本人に支払ってもらい、本人に助成する仕組みとしている。	・施策 1-1
二次的被害	どのような相談があるか。	・近所の人から性被害を受け、被害届を出したところ、家族から責められた。	
	二次的被害防止のため施策はどうか。	・「大丈夫？」など、 <b>よかれと思った声</b> がけが負担になることがあるので、相談員自身も難しい面がある。 ・具体的な例があるわけではないが、「 <b>たらいまわし</b> 」は防止すべき	・施策 9-1、13-2、リーフレット ・連絡協内の連携を検討

項目	お伺いした内容	お話いただいた内容	備考
3. 支援等担当者	相談対応で心がけていることはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を否定せずに、じっくり聴くようにしている。</li> <li>・付添支援の場合、被害者本人の力を大事にし、本人に決定をしてもらっている。</li> <li>・相談時はニーズが混乱していることが多いので、何を求めているか聞く。</li> </ul>	
	支援施策の充実に向け必要なことは何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターにおいても関係機関を全て把握しているわけではなく、きちんと連携したいと考えている。</li> <li>・市町村の相談窓口周知も必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡協内の連携を検討</li> <li>・リーフレットを県HPに掲載</li> </ul>
	「代理受傷」など、自信の気持ちがつらくなったときどのようにしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でも「これが代理受傷かな」と自覚することがある。このようなときは、センター内部で悩みを共有しあう。</li> <li>・自分の好きなこと（おいしいものを食べるなど）をして、気分転換する。</li> </ul>	
	「代理受傷」などの防止のために必要な施策は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>公認心理師などに相談</b>できる体制が必要である（センターでは、令和5年にスーパーバイザーの委嘱に関する規程を制定の上公認心理師1名をSVに委嘱し、相談体制を整えている）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策 9-1、専門職研修会を開催</li> </ul>
	センターの支援の充実のために連携が必要な専門家や専門分野はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>男性の性被害</b>に関し、泌尿器科などとの連携を検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡協内の連携を検討</li> </ul>
	被害者支援分野の人材育成・確保についてどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国のセンターで、高齢化が進んでいるようなので、若い人に入ってほしい。</li> <li>・センターの相談員の専門性については、基本的には専門機関につなぐということが大切なので、心理士などの資格があればそれに越したことはないものの、必須ではない。</li> <li>・外国人が被害者となる場合、仙台合同庁舎内の団体に支援を求めることができるが、<b>障害がある人などに対する支援</b>についても、関係団体との連携を考える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策 2-1</li> </ul>
4. その他	その他についてどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの活動が市町村に認知されるにつれて、仙台市から遠方の市町村から被害者対応時の応援を求められることが想定される。それは良いことである反面、<b>センターの負担も増える</b>ことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村との連携を検討</li> </ul>

(注) 備考欄の「施策」は、宮城県犯罪被害者等支援計画中間案第4章の施策を指す。